

研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科薬科大学 内科学 教室

記

研究の名称	膵癌全身化学療法施行症例におけるサルコペニアと予後に関する後方視的検討
対象	2018年4月1日から2021年3月31日までの期間に本院で切除不能膵癌の診断をされ、化学療法を施行した患者さんの情報（病歴、血液検査所見、CT検査所見）を研究に利用いたします。本学では、54例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2028年3月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：膵がんは近年増加傾向ですが、進行した症例では最新の治療を実施しても平均的な余命は8ヶ月前後と予後不良ながん種のひとつです。</p> <p>一方、サルコペニアは骨格筋量及び、筋力の低下、身体機能の低下によって特徴付けられる病態であり、がん患者さんにおいては、重要な予後予測因子の一つとされています。膵がん患者さんでは、サルコペニアの合併率が高いことが知られています。近年は、サルコペニアにおいては筋肉量だけでなく、筋肉の質が重要であるとされていますが、今までの研究では筋肉量の評価のみにとどまるものが多く、筋肉の質が評価されていませんでした。一方で、筋肉の機能を評価するのに筋肉内の脂肪量が有用との報告も出てきています。</p> <p>これらの背景をふまえ、この研究ではBMI、筋肉量に加えて筋肉内の脂肪量を測定し、進行膵がん患者さんにおけるサルコペニアと生</p>

	<p>命予後との関連を明らかにすることを目的としました。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2024年6月24日）</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>情報：検査データ、診療記録等</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p>研究者名</p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 内科学 教授 西川 浩樹</p>	
<p>参加拒否の申し出について</p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができ</p>	

ねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学 教室

担当者 松尾 奈々子

連絡先 072-683-1221（代） 内線 54169

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 西川 浩樹 殿

研究の名称	膵癌全身化学療法施行症例におけるサルコペニアと予後に関する後方視 的検討
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名(自署)

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者(続柄:)

住所

氏名(自署)